

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②施設・事業所情報

名称：日生矢向保育園ひびき	種別：認可保育所
代表者氏名：風間 聡志	定員（利用人数）： 60名
所在地：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-10-31	
TEL：045-585-2851	ホームページ： http://merhalsa.jp/nursery/yakou/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成25年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ミアヘルサ株式会社	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員 10名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 18名 栄養士 2名
	看護師 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	保育室：6室、調乳室：1室、 沐浴室：1室、厨房：1室 事務室：1室、談話室：1室
	園舎：鉄骨造2階建て、1階は保育室・ 調乳室・沐浴室・事務室・談話室。 2階は保育室になっている。 園庭：砂場や大型遊具1台あり、十分 に遊べるスペースがある。

③理念・基本方針

理念

【創業の精神】人の幸せづくり どんな困難にも必ず一本の白い道がる。
 【経営理念】私が変わる愛の経営「響動」
 【ミッション】少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にします。
 【ビジョン】明るい健康・福祉・共生社会の実現
 【人材理念】従業員は会社の根幹であり、最大の財産です。従業員一人ひとりの成長こそが会社の成長です。

基本方針

- ・私たちは、業界ナンバーワンを目指します。
- ・私たちは、一人でも多くの人の命、尊厳、自立を守ります。
- ・私たちは、お客様を第一にして、適切なサービスを誓います。
- ・私たちは、スピード、シンプル、サイエンスを誓います。
- ・私たちは、オープン、クリア、フェアを誓います。
- ・私たちは、プライバシー遵守を誓います。
- ・私たちは、明るく、元気、前向きで不屈の精神を誓います。
- ・私たちは、人間性の向上に努め、社会に貢献します。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・こどもたちの年齢の枠を超えた交流、地域社会との交流等たくさんの経験の場を多く取り入れ、のびのびと遊び、助け合い、刺激し合い、「心と心」、「人と人」をつなぎ、「楽しい」、「嬉しい」、「わくわくする」、「お子様の笑顔がいつもきらきらと輝いている」保育園です。
- ・体操教室を取り入れており、講師が遊びを通して子ども達へ体の動かし方を教えて行っている。
- ・地域支援として、園庭開放や、育児講座を行い、未就学児やその保護者への援助を行っている。
- ・園庭開放や、大型行事に参加等している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年11月4日（契約日） ～ 2021年3月 15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 体操教室や戸外活動を通して、子どもの成長過程に合わせた保育内容を取入れ、健康な体づくりに努めています。

当園では、年齢や発達に合わせたリトミックやリズムあそび、運動あそびを取入れ、柔軟性やバランス感覚など体の上手な使い方を学んでいます。運動あそびでは、外部講師を招いて週1回の体操教室を開いて、体幹や柔軟性の発達に取り組んでいます。また、運動会では、5歳児が鉄棒や跳び箱を実施し、それを見た4歳児は鉄棒や跳び箱を運動遊びに取り入れる等、連続性を持った保育を取組んでいます。さらに、戸外活動では、今年度よりお散歩マップを作成し、公園までの安全な道のりや遊び場所を職員間で共有し、これまでよりも積極的に戸外活動を行っています。戸外活動における取組は、今回の第三者評価の保護者アンケート調査の結果において、「子どもが戸外遊びを十分にしているかについては」という項目において「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた回答が89.1%と保護者満足にも繋がっています。体操教室や戸外活動を通して、子どもが健康な体をつくれるよう、保育環境や時間を十分に確保するよう努めています。

2. 食への興味や関心が深まるように、子どもの成長に欠かせない「食育」を推進しています。

当園では、年間を通して季節に応じた豊かな食育の展開し、子どもたちが食べるのが楽しいと感じ、食への興味や関心が深まるように取り組んでいます。離乳食会議・給食会議では、子どもの喫食状況やメニューについて話し合い、より良い食事の提供に努めています。また、栄養士が年齢に合わせて月に1回クッキング教室を実施し、トウモロコシの皮むき・そら豆のさやむき等の食材を見る・触るなどの調理を体験する機会を提供しています。さらに、とうきびご飯や五平餅等の都道府県の郷土料理をテーマにした給食を提供し、配膳時にメニューの話をするなどして食への興味・関心を育んでいます。

3. 子どもの健康管理の体制が整っており、子どもが安心して生活しています。

内子どもの健康については、内科や歯科などの定期健診を行い、適切に管理しています。子どもの健康管理は、看護師が中心となって取り組んでいます。看護師は職員と連携をとり、子どもの生活が衛生的に営まれ、元気で活発に過ごせるように支援しています。具体的には、看護師が全クラスで毎朝行う視診、定期的な身体計測、服薬が必要な場合のダブルチェック等を適切に行っています。また、体調不良や不慮のケガ等が起こった際は、職員が発見し次第、すぐに看護師や園長に報告し対応しています。その子どもの状態は、保護者に連絡し、その経緯や環境についての説明を丁寧に行っています。受診が必要な場合には、必ず保護者の了解のもとに各家庭の主治医や近隣の病院に職員が付き添い、状態の確認をしています。看護師を含む職員全員が、子どもの健康管理への高い意識を持って保育にあたり、子どもたちが安心して生活できる環境を提供しています。

◇改善を求められる点

1. 保育理念に基づいた中・長期計画の策定や全体的な計画の見直し・再編成が望まれます。

当園では、おもちゃの作成や整備、体操教室を取入れて身体の発達に沿った保育、積極的な食育への取り組み等、子どもたちの楽しいにつながる保育を提供しています。しかし、こういった保育内容が全体的な計画に基づいているかは確認できませんでした。保育理念を基に、3年後や5年後の園の姿を見据えて中・長期計画を策定し、その計画に基づいて単年度の全体的な計画を策定することが望まれます。また、日々の保育内容を定期的に振り返り、月案や週案に反映することで、さらなる保育の質の向上に繋がります。様々な計画のあり方を再確認して、保育に関わる職員全員の参画による話し合い等を通し、保育理念に基づいた一貫性・連続性・特色ある保育の実践のために全体的な計画の見直し・再編成が期待されます。

2. 保育園からの保護者への積極的な情報発信が期待されます。

当園では、運動会や親子遠足などの行事後にアンケートを実施し、運営の改善に活用しています。これまでは、そのアンケート結果を保護者へはフィードバックしていませんでしたが、保護者からの要望をうけ、園内の掲示板に掲示しフィードバックをするように変更しました。このように保護者への情報発信は、保護者からの要望に応じることで改善を図っています。一方で、園から保護者に伝えるべき事業計画や方針等についての情報発信は十分にされていません。今回の第三者評価の保護者アンケート調査の結果において、「この園の保育目標・保育方針はご存じですか」という項目において「良く知っている」「まあ知っている」を合わせた回答が58.2%であり、ほかの項目と比べると低めの結果となっています。今後は、保護者からの要望に応える形での情報発信だけでなく、園として保護者への必要な情報を検討し、積極的に情報発信をすることが期待されます。

3. さらなる保育内容の充実への取組として、職員間の連携強化が期待されます。

園の運営体制については、運営や経営に関することは園長、保育に関することは主任が担当として管理者間で役割分担しています。しかし、園長・主任の負担が大きくなることで、「保育に関わる機会が少なくなっている」「保育の状況を把握することができていない場面がある」等の意見が、今回の第三者評価の職員アンケートで散見されました。また、職員に対して共有すべき情報が共有されていないなど、連携に課題が見られます。今回の第三者評価の職員アンケート調査の結果において、「保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている」という項目に対して「できている」の回答が27.7%に留まっています。管理者の担うべき役割や情報共有の仕組みを再検討し、さらなる保育内容の充実に向け職員間での連携強化が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

園開園から2回目の第三者評価を受けました。日々の保育を振り返る良い機会だったと思う。同時に園の課題が見えてきたこともあり、今後の保育について主任とより密に話し合いを行っていく必要があると再認識した。

又、ご指摘やご意見をいただいたものや課題をしっかりと受け止め改善をしていきたいと思えます。

これからも、子どもたちが保育園に通いたい、保護者様からこの保育園に通わせたいと思えるような保育を心掛けていきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり